

安保・戦争国会粉碎へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2015年5月22日
No.295

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

沖縄大自治会執行部選挙 赤嶺候補への信任投票進む!

5月20日、いよいよ沖縄大学学生自治会の再建二年目の執行部選挙が始まりました。今回の選挙は「沖大生の力で辺野古新基地建設止めよう!」「沖縄大学を戦争反対のとりでに!」を掲げた赤嶺統一候補の信任投票として闘われています。何より、5月17日のセルラースタジアム35000人県民大会、5・18沖大キャンパス集会&デモの圧倒的高揚と勝利を引き継いで、沖大に戦争絶対反対、辺野古新基地阻止、安倍打倒のゼネスト執行部を打ち立てる歴史的な選挙戦となっています。

初日20日(水)は、主客にわたって昨年とはまるで違う情勢、われわれが5・15沖縄闘争の4日間の中で感じた「全島ゼネスト情勢」を肌で実感できるスタートとなりました。

赤嶺候補は授業前のクラスや中庭で声を枯らして訴えています。「5月17日、35000人の県民大会が爆発しました。沖縄の怒りは爆発しています。『復帰』から43年、戦争反対、基地反対で闘った復帰闘争の全島ゼネストのような闘いがもう一度巻き起ころうとしています。沖大OBの方が『かつて学生が復帰闘争の先頭に立った』と自治会を激励してくれました。翌日のキャンパス集会とデモの大成功も、沖大キャンパスに同じ情勢があることを証明しました。ビラがまけない状況、4人に1人が辞めていく状況を覆して、沖大生が戦争反対、新基地建設阻止の先頭に立ちましょう!」。



沖大生は、赤嶺候補の訴えを聞き、ビラに目を通して、昨年来を圧倒的に上回る勢いで投票に決起しています。特にこの間、メッセージを書いてくれた学生が初日から投票し、赤嶺候補とガッチリ握手を交わしています。お昼休みには「自分も県民大会に参加した」という学生が票を投じてくれました。

この状況に顔面蒼白なのが沖大当局です。弾圧職員はキャンパス集会の際も、窓や踊り場から中庭を見ている学生に「ここに立っていると賛同していると思われるから気をつけて」と声をかけて追い払おうとしました。



戦争法案粉碎! 安倍たおせ!

〈6・15国会包囲大闘争〉

6月15日(月) 終日、国会デモや座り込み行動<予定>

〈国鉄闘争全国運動6・7全国集会〉

～国鉄1047名解雇撤回! 闘う労働運動の再生を!～

6月7日(日) 18時半～ 東京・日比谷公会堂にて

【呼びかけ】国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)



★沖縄闘争の感想＝広島大学・A

広島大学学生自治会から沖縄闘争に参加しました。ゼネスト情勢としての県民大会3万5000人結集の迫力！これを本当にゼネストに発展させて、基地をなくし、戦争をとめていく力にしていかなければと思いました。IJB S労組支援共闘会議、沖縄大学学生自治会が基地と戦争を現場から止めていく拠点として昨年立ち上げられていることは本当に大きいと思います！基地と引き換えの「振興策」と、沖縄大学当局の「基地反対」がいかに欺瞞に満ち溢れていたことか。「振興策」が非正規化を圧倒的に進め、労働者に基地労働を選ばせ、口だけの「基地反対」の中で多くの学生が学費を払えなくなって大学を辞めていく。IJB S労組、沖大自治会の職場・キャンパスの闘いによって、これらの嘘が労働者・学生を基地に縛り付けていたことが満天下に明らかにされてきました。18日は、県民大会との連帯と、この自治会建設の闘いによってついに、沖大当局の封鎖体制を打ち破って、ゼネストを訴えるキャンパス内集会とデモを打ち抜くことができました！ゼネスト情勢と拠点建設の闘いが結びついた時にゼネストが切り開かれる、そのことに確信を持つことの出来る沖縄闘争でした。

★沖縄闘争の感想＝広島大学・B

5月15日から18日までにかけて、広島大学学生自治会として沖縄へ行って参りました。今回の沖縄闘争では、県民大会と連帯し、万単位の方々と繋がる事が出来ました。沖縄の人々は基地問題に対して真摯に向き合っており、沖縄現地にて活動を行う事で、情勢の圧倒的な高まりを感じる事が出来ました。沖縄県民大会は、現地で大々的に報じられており、その関心もとても高いです。

この沖縄の怒りの行動は全世界へと発信するべきです。圧倒的な正義性を持つ戦争と基地への反対の思いは、人間の理性の象徴であり、最も尊重すべき感情です。日本から平和を実現し、世界へと平和を広げましょう。この理想は沖縄にもありました。理想を理想に押し留める事無く、現実化させる闘いが求められ事が今回の沖縄闘争で分かった事でした。

さらに沖縄大学では、学生を先頭に戦争反対と労働者の自己解放的な闘いを！と訴えてきました。これからも戦争の根絶を訴えていきたいです。最後になりましたが、カンパを寄せてくださった皆さん、ありがとうございました。これからもご支援を宜しくお願い致します！



5月18日付『沖縄タイムス』に「県民大会参加者108人の声」として、赤嶺君の訴えが載りました！

しかし、多くの沖大生が意識的に集会に決起していたことを、投票行動というかたちで再度突きつけられたのです。

沖大生の決起に追いつめられた職員は昼休み以降、大動員で投票行動を訴える学生につきまとい、昨年のような妨害行為に出してきました。しかし、それ自身が沖大当局の本性を満点下に暴き、沖大生の怒りに火を注ぐものでしかないことが、さらなる沖大生の投票で突き出されました。教員も決起しており、赤嶺候補のクラス入りを妨害に来た職員が、逆に担当教員の決起で追い返されるという事態も起きています！

沖縄全島ゼネスト情勢と、沖大自治会の一年間の闘いの地平で主客の力関係は一変しています。沖大生が戦争阻止、辺野古新基地阻止のストライキに立ち上がり、6・15決戦に総決起する闘いとして圧倒的勝利へ突き進みます！（沖縄大・M）



【当面する行動方針】

●韓国・民主労総ゼネスト連帯！ 6・28集会

6月28日(日) 13時半～ 東京・江戸川区総合文化センター大ホールにて

●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回＝判決

6月29日(月) 11時～ 東京地裁419号法廷にて ※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

●安倍をととも倒そう！ 7・5大集会

～「7・1 集团的自衛権閣議決定」一周年 改憲・戦争・原発・首切りのABE TAOSE!～

7月5日(日) 13時～ 東京・ニッショーホール(消防会館2F)にて

【主催】許すな改憲！大行動(改憲・戦争・原発・貧困許さない大行動 <http://yurusunakaiken.com/>)

